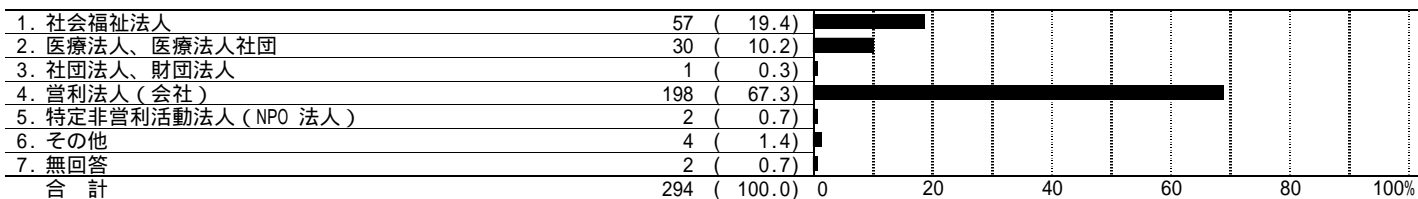


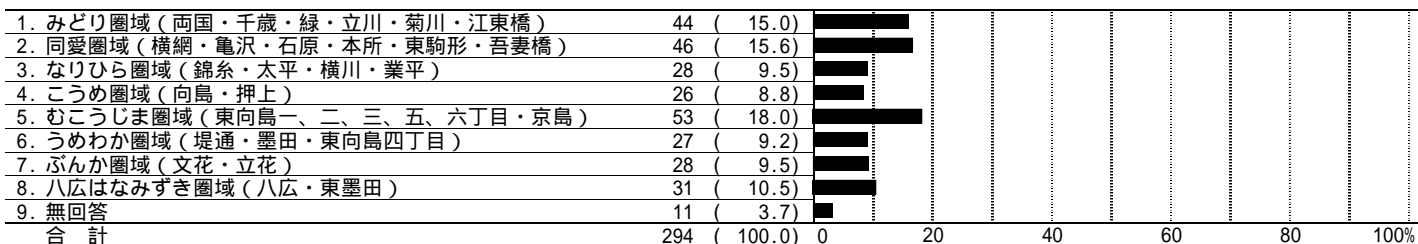
介護サービス事業所調査 単純集計結果

資料 1 1

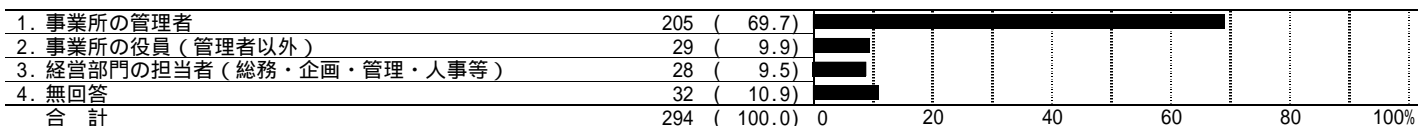
問1 貴事業所について  
法人形態



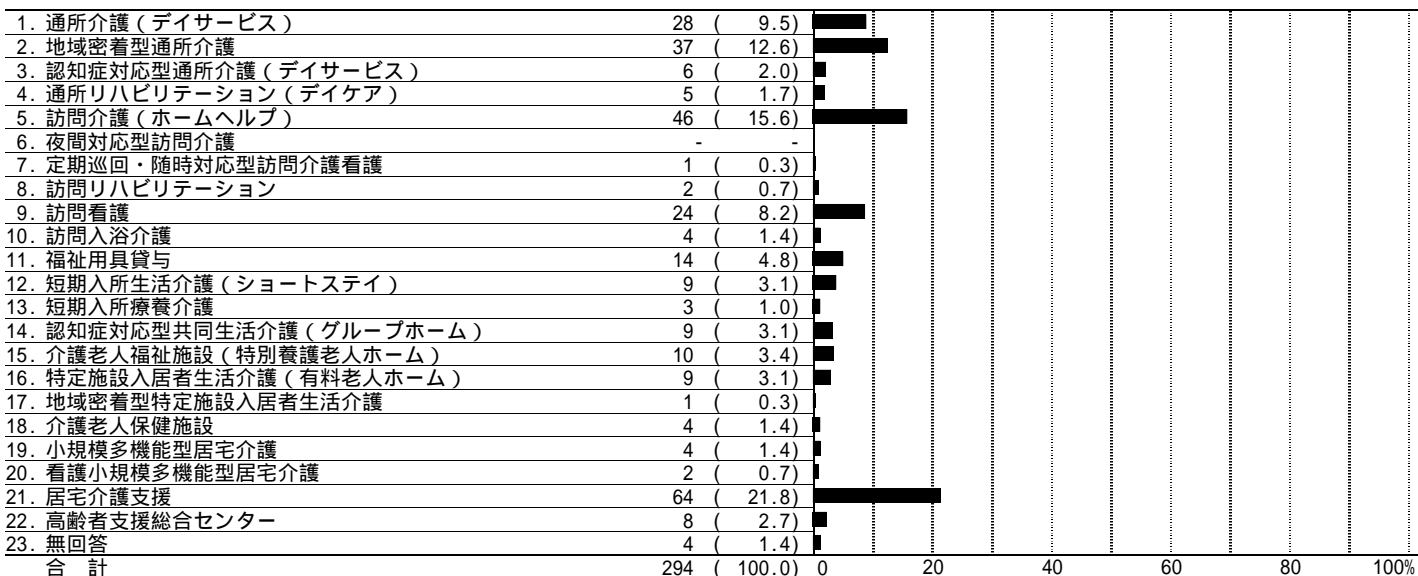
問1 貴事業所について  
圏域



問1 貴事業所について  
記入者

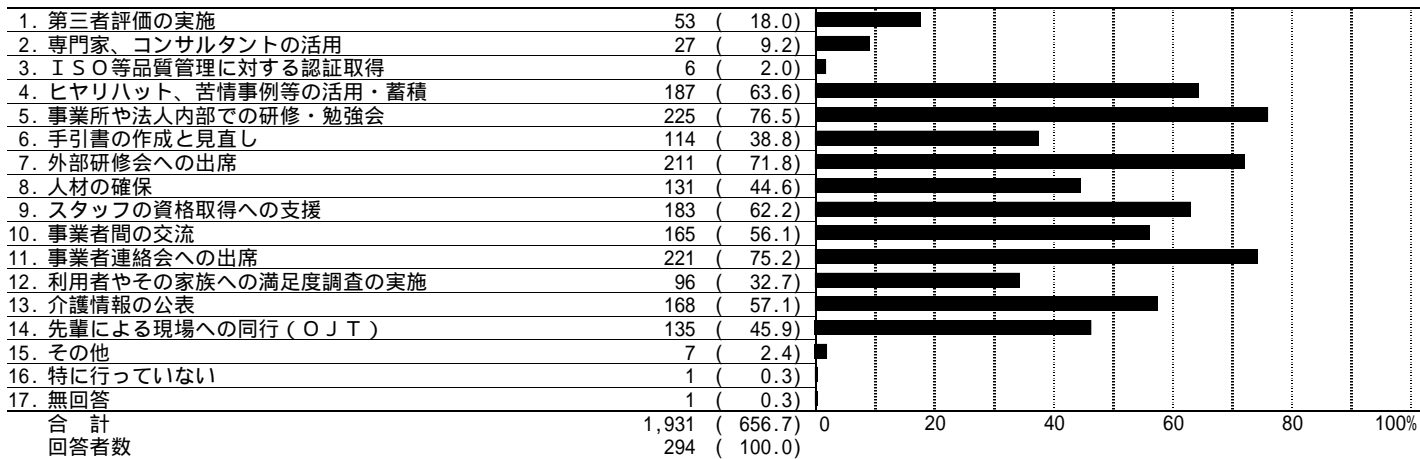


問2 貴事業所のサービス種別(封筒に記載されたサービス種別)は次のうちどれですか  
回答者のサービス種別の上位は「居宅介護支援」、「訪問介護(ホームヘルプ)」、「地域密着型通所介護」であった



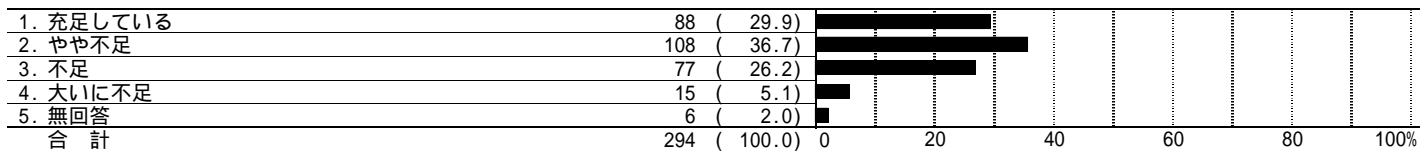
問4 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか(複数回答)

サービスの質の向上の取り組みでは、「事業所内での取り組み」や「外部との交流」との回答が多い一方で、ISOや第三者による取り組みは少ない



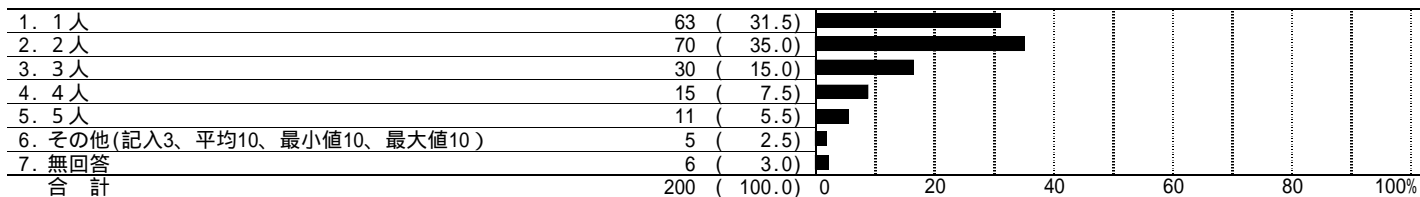
問5 職員の過不足状況についてお答えください。

職員の過不足状況では、約70%の事業所で職員が不足している



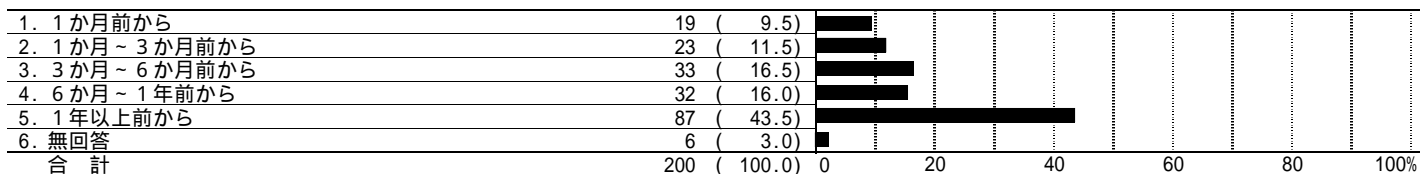
問5 問5でやや不足、不足、大いに不足と回答した事業所について、職員は何人不足していますか

不足人数では2名との回答が最も多く、次いで1名の不足であった



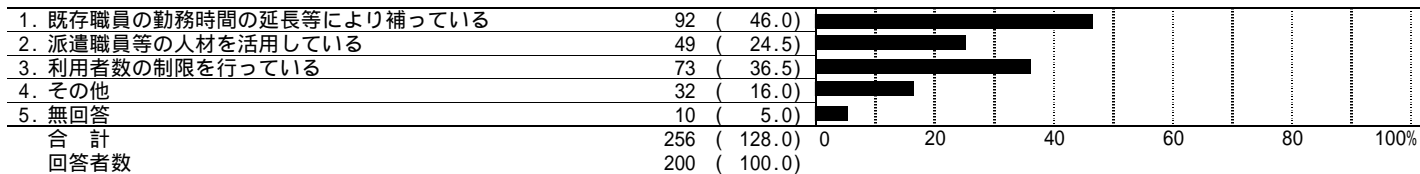
問5 問5でやや不足、不足、大いに不足と回答した事業所について、職員が不足しているのはいつからですか

不足している期間は、「1年以上前から」の回答が約4割と多かった

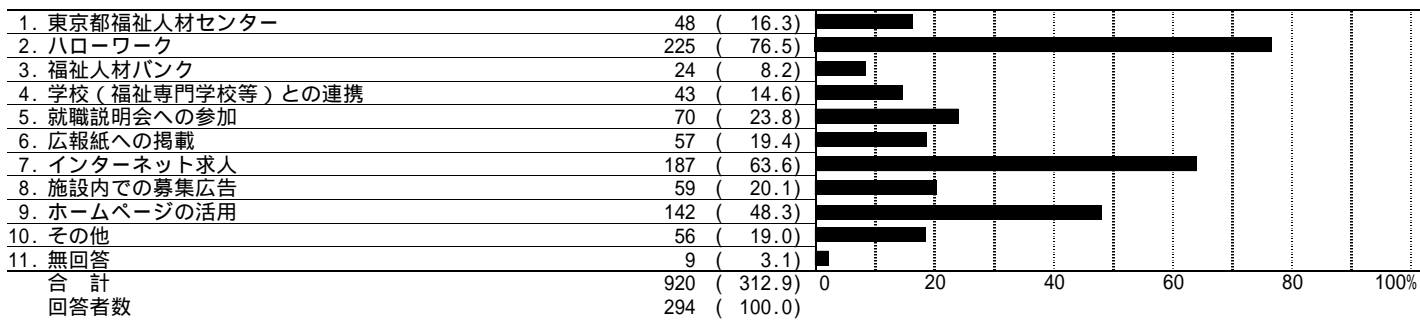


問5でやや不足、不足、大いに不足と回答した事業所について、職員の不足についてはどのように補っていますか(複数回答)

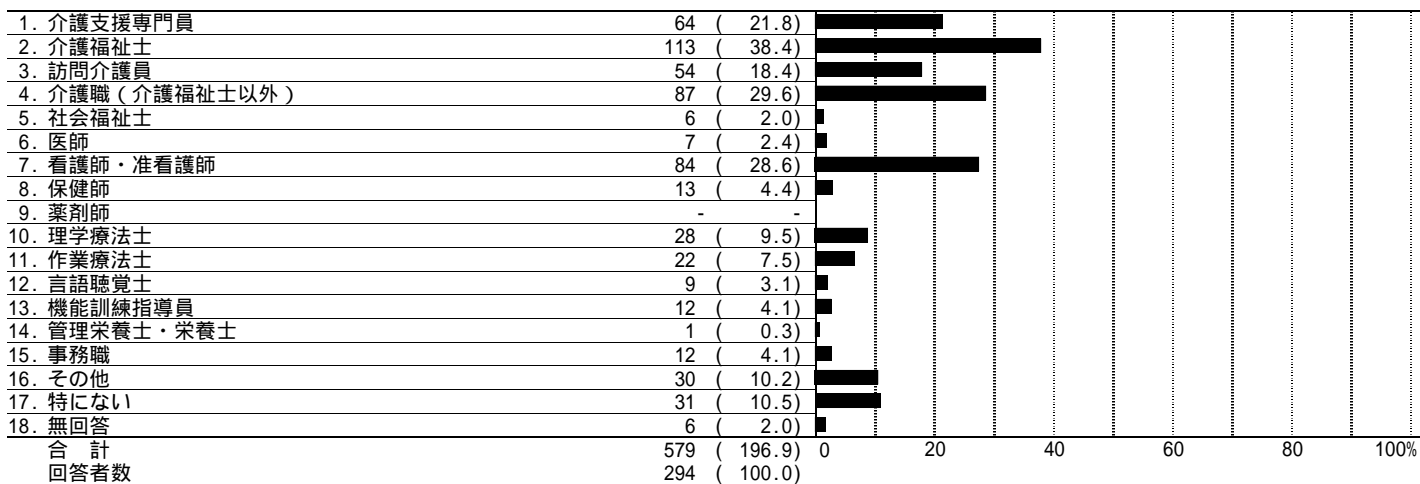
職員不足を補う方法では、「既存職員の時間延長で補っている」との回答が最も多い



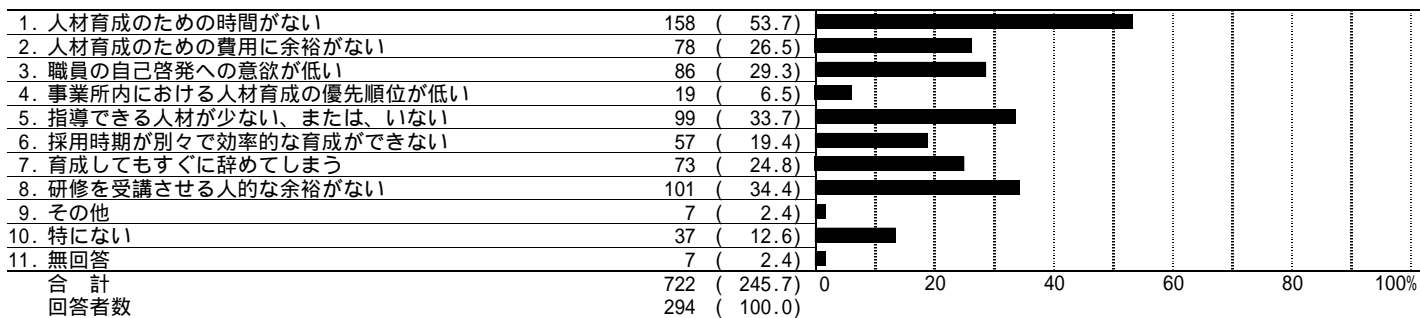
問6 貴事業所の職員の募集方法について、どのような取り組みを行っていますか(複数回答)  
募集方法の回答の上位は「ハローワーク」、「インターネット求人」、「ホームページ」の活用であった



問7 貴事業所において、特に確保の困難な職種はどれですか(複数回答)  
確保困難な職種上位は、「介護福祉士」、「介護職(介護福祉士以外)」、「看護師・准看護師」であった

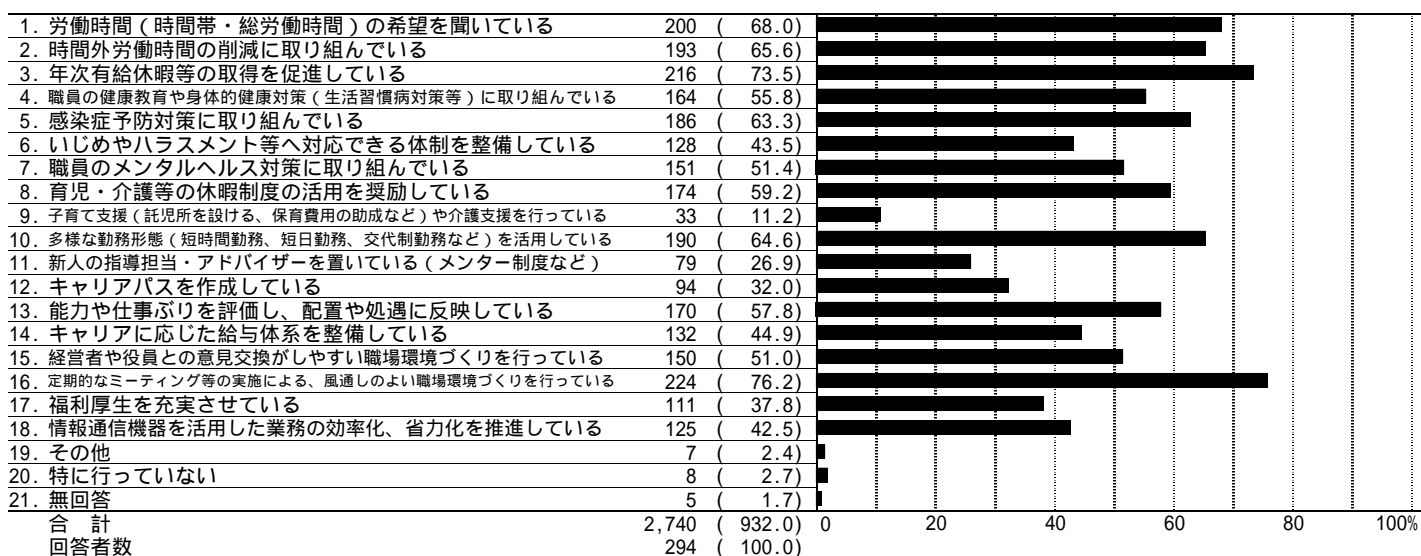


問9 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか(複数回答)  
教育・研修で困っていることの上位は、「時間がない」、「人的余裕がない」、「指導できる人がいない」であった



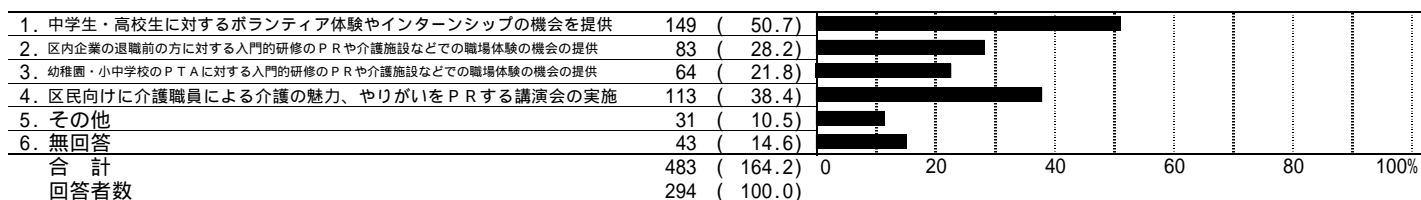
問10 職員の早期離職防止や定着促進のためにどのような取り組みを行っていますか(複数回答)

早期離職防止、定着促進の下位は、「子育て支援」、「指導者の設置」、「キャリアパスの作成」であった



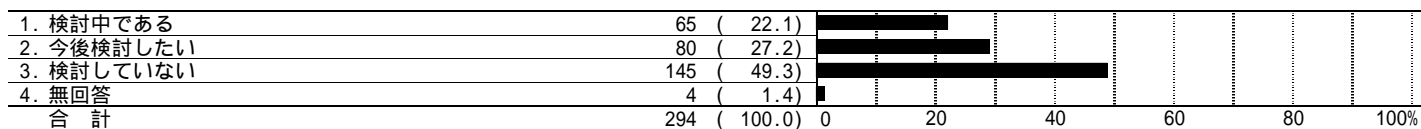
問12 貴事業所では、仕事としての介護のイメージアップを図るためには、どのような取り組みが必要とお考えですか(複数回答)

イメージアップの上位は、「中学生・高校生に対する体験の機会を提供する」であった



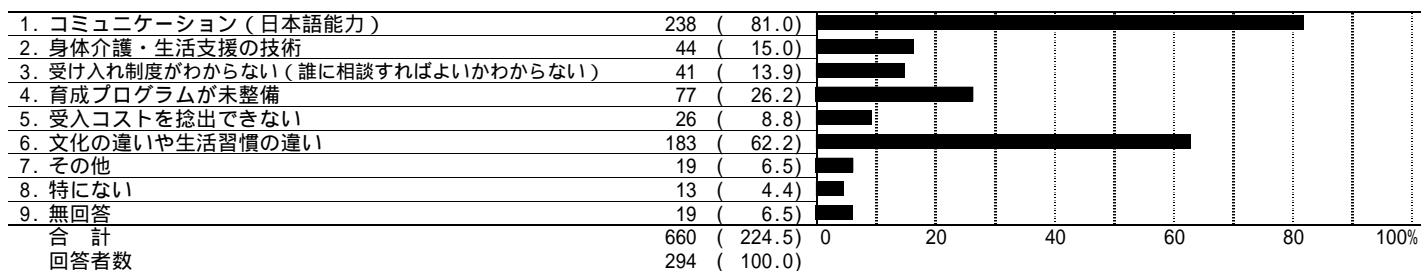
問13 外国人の雇用を検討していますか

外国人雇用は、約半数で検討していない



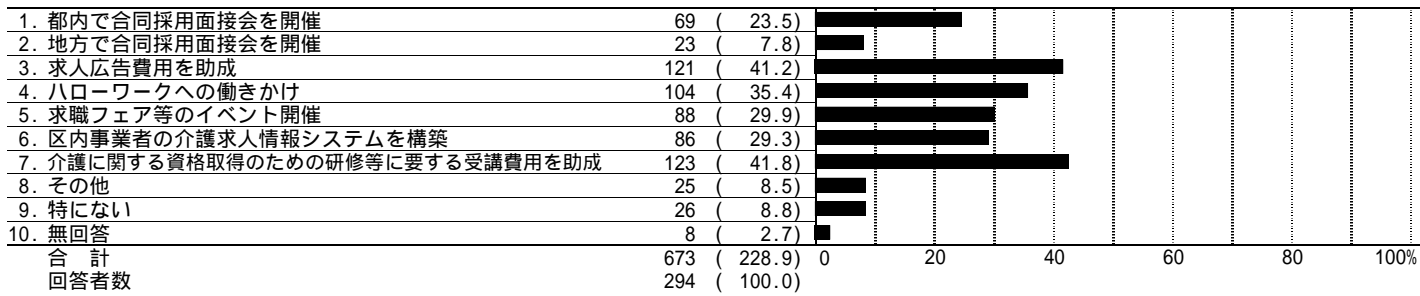
問14 外国人を雇用する場合に、課題と考える項目を教えてください(3つまで選択)

外国人雇用の課題の上位は、「コミュニケーション」、「文化・生活習慣の違い」であった



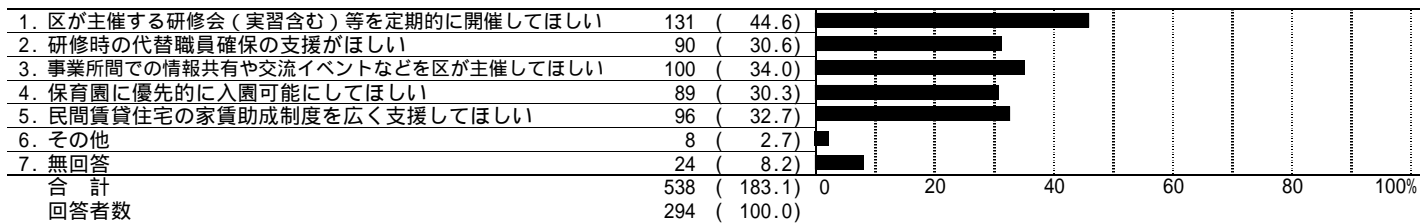
問15 採用・求人募集について、墨田区にどのようなことを望みますか(3つまで選択)

採用・求人募集に伴う墨田区への要望の上位は、「研修等の受講費用の助成」、「求人広告費用の助成」であった



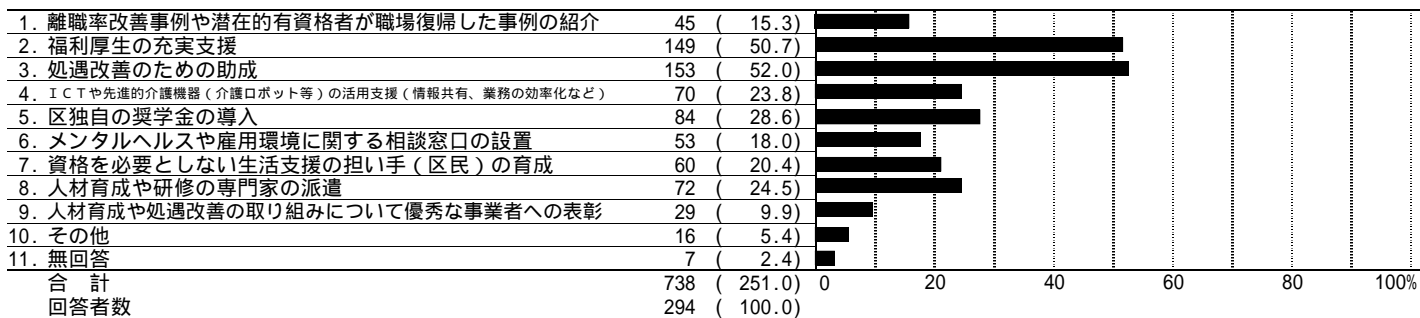
問16 キャリアアップや人材育成、モチベーション継続のため、どのような支援を望みますか(3つまで選択)

キャリアアップ、人材育成、モチベーション継続のための支援では「研修会の定期的な実施」との回答が多かった



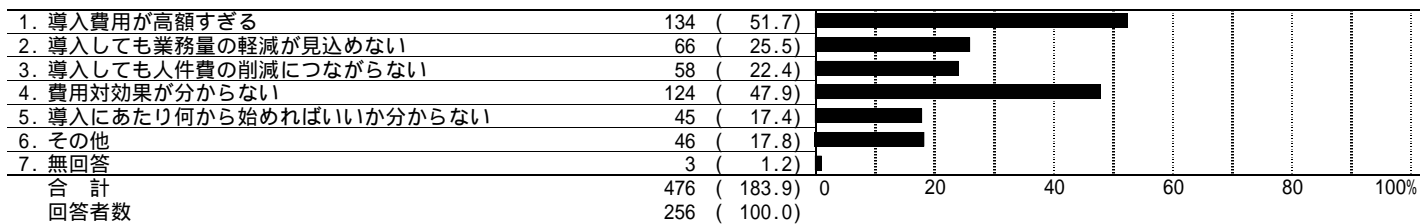
問17 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、必要と考えられる支援策は何ですか(複数選択)

人材確保・育成や早期離職防止と定着促進のための支援の上位は、「処遇改善のための助成」、「福利厚生充実支援」であった



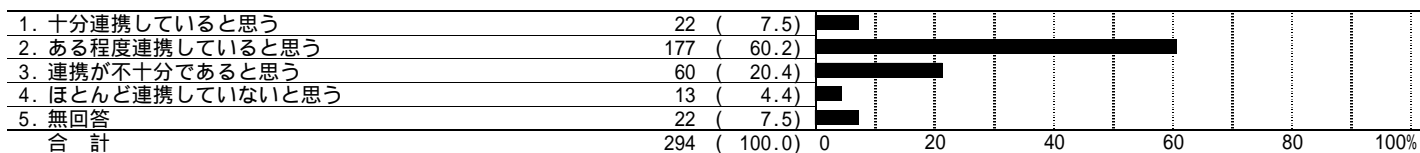
問19 問18で「3.導入を検討していない」に一つでも○をつけた事業所におたずねします。ICT等の導入を検討していない主な理由は何ですか(複数回答)

ICT等導入を検討していない理由の上位は、「導入費用が高額」、「費用対効果がわからない」であった

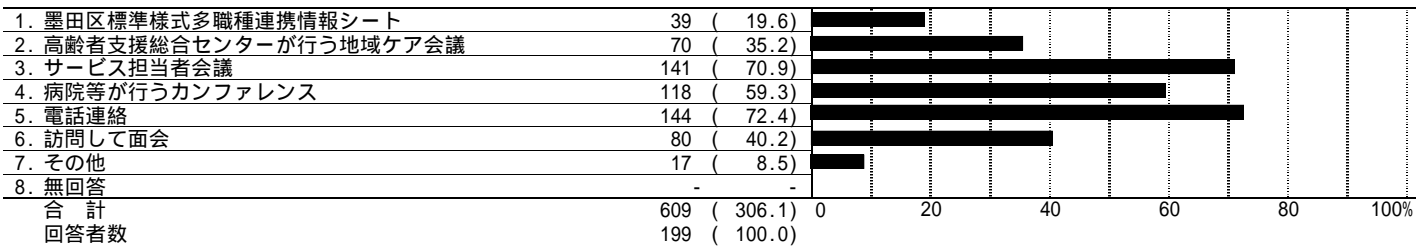


問20 区内の在宅療養者への医療と介護は、連携していると思いますか

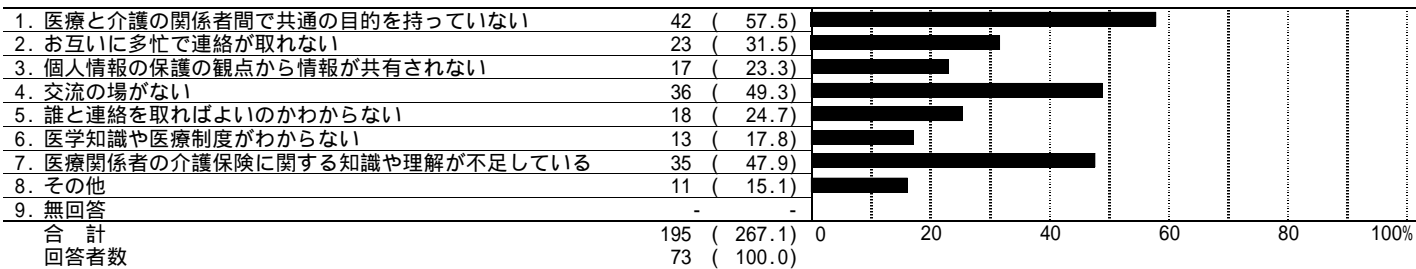
医療介護連携では、「ある程度連携している」との回答が多かった



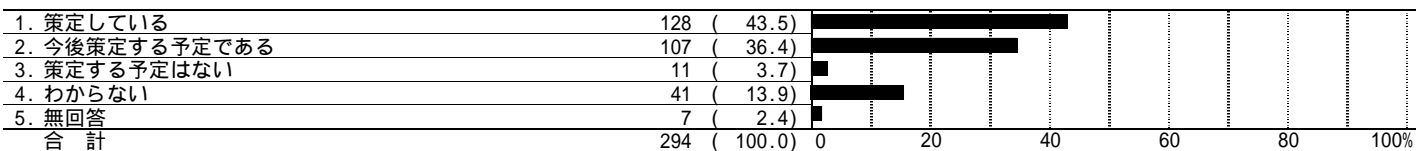
問20 問20で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします。どのように連携しているか教えてください(複数回答)  
医療介護連携方法の上位は、「電話連絡」、「サービス担当者会議」であった



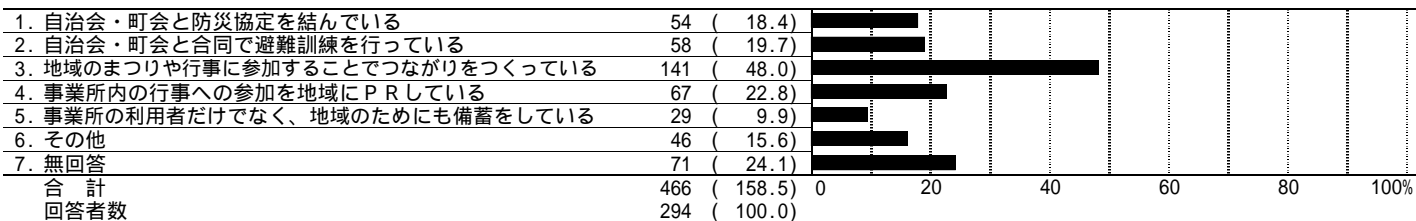
問20 問20で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします。そのように思う理由は何ですか(複数回答)  
医療介護連携が不十分と回答した理由の上位は、「共通の目的がない」、「交流の場がない」、「医療関係者の介護保険に関する知識不足」であった



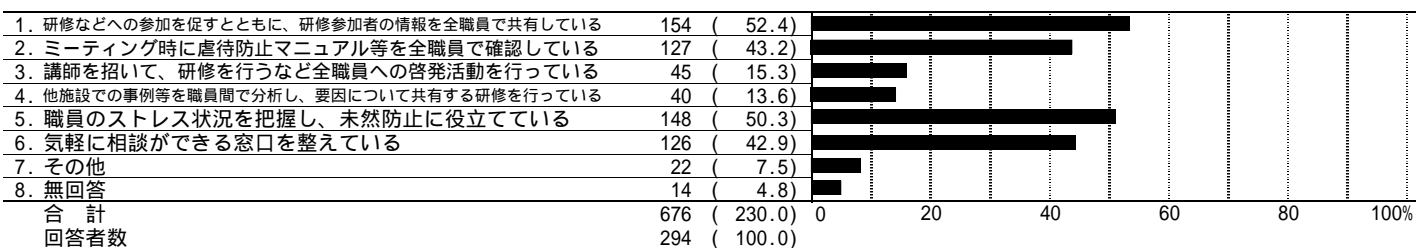
問21 大規模災害が発生した際の備えとして、事業者としての計画や方針(BCP含む)を策定していますか  
大規模災害時の計画を策定しているのは約4割であった



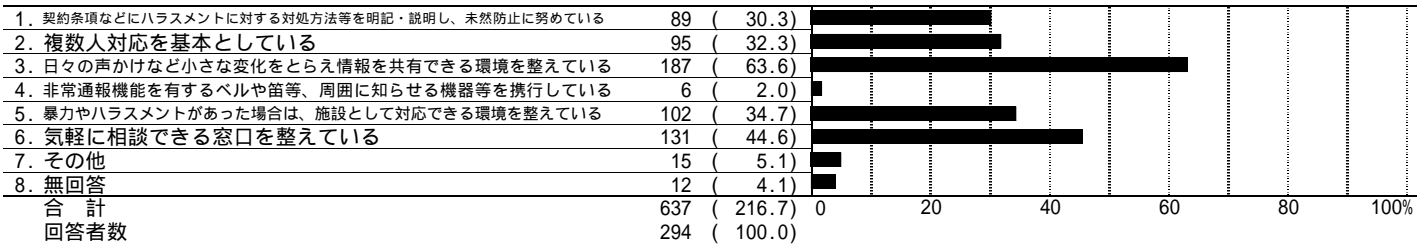
問22 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか(複数選択)  
地域とのつながりでは、「まつりや行事に参加すること」との回答が多かった



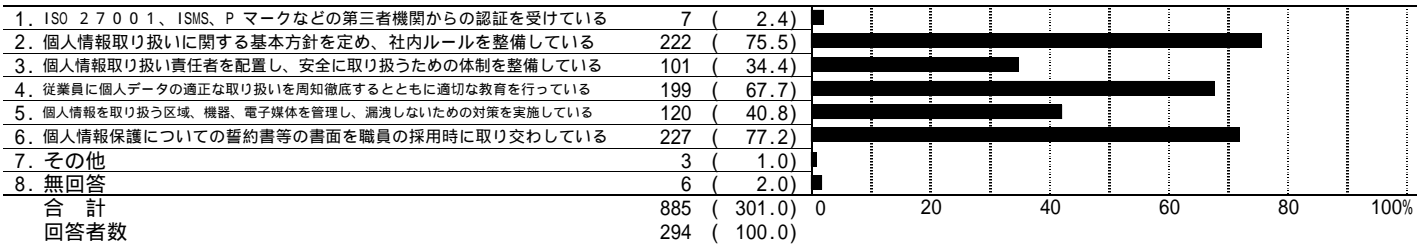
問23 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか(複数選択)  
利用者への虐待やハラスメント防止では「研修会への参加」、「職員のストレスの把握」、「マニュアルなどの確認」、「相談窓口の設置」との回答が多かった



問24 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか（複数選択）  
職員へのハラスメント対策では「情報共有できる環境を整えている」との回答が多かった



問25 個人情報の取り扱いについて、実施しているものを教えてください（複数選択）  
個人情報の取り扱いの上位は、「社内ルールの整備」、「誓約書の取り交わし」、「教育の実施」であった



問26 墨田区の介護人材確保を目的とした助成事業（介護職員初任者研修受講料の助成事業・実務者研修受講料の助成事業・介護福祉士資格取得支援助成事業）をご存じ  
助成事業は、約56%で知られていた

